

# 平成30年度全国中学校体育大会 第48回全国中学校バスケットボール大会



決勝トーナメント男子 白山市立美川中学校

55

(石川県) ●

13	—	17
11	—	15
19	—	12
12	—	12
—	—	—

56 実践学園中学校

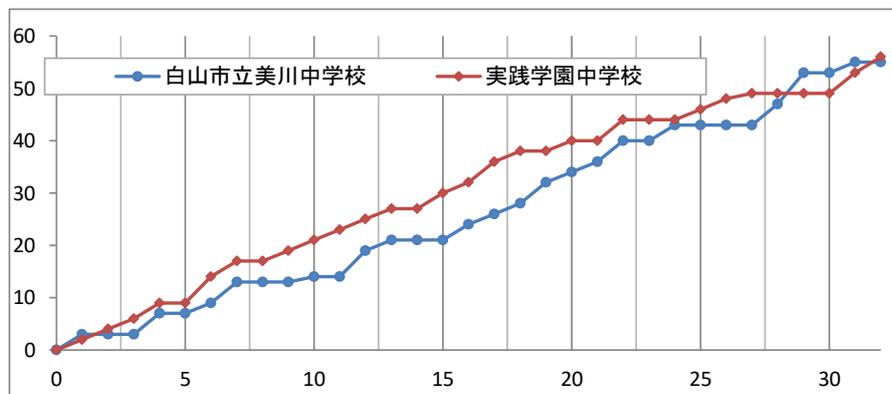
○ (東京都)

主審 望月 公平

第1副審 河上 健太

第2副審 千原 翔太

No. 24YC4 日時: 2018年8月24日(金) 13:30 会場: 維新百年記念公園スポーツ文化センター



## 白山市立美川中学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 久木 翔太	11	0	5	1	1
5	* 内田 貴斗 (C)	28	2	7	8	2
6	* 大田 晃平	0	0	0	0	2
7	奥谷 迅大	0	0	0	0	0
8	新村 爽空	—	—	—	—	—
9	谷内 鉄人	—	—	—	—	—
10	山崎 虎太郎	—	—	—	—	—
11	大野 颯汰	6	2	0	0	1
12	* 松川 尚弘	6	0	2	2	1
13	岡田 琉心	0	0	0	0	0
14	熊谷 健二郎	—	—	—	—	—
15	谷内 豪太	0	0	0	0	4
16	* 山本 雄心	4	0	2	0	2
17	森田 稀羅	—	—	—	—	—
18	津田 琉成	—	—	—	—	—
コーチ 黒島 啓之						
合計		55	4	16	11	13

## 実践学園中学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新井 翔太 (C)	33	3	11	2	3
5	高橋 記紹	—	—	—	—	—
6	* 宮田 滯	0	0	0	0	0
7	齊藤 翔吾	9	0	3	3	3
8	小泉 広翔	—	—	—	—	—
9	* 家永 淳之介	8	0	4	0	2
10	* 山本 真	4	0	1	2	1
11	* 内山 幸紀	2	0	1	0	3
12	白崎 晃生	—	—	—	—	—
13	岡田 新	—	—	—	—	—
14	竹田 光騎	—	—	—	—	—
15	堀内 星河	0	0	0	0	2
16	テープス 流河	—	—	—	—	—
17	大石 凌仁郎	—	—	—	—	—
18	榮田 敏久	—	—	—	—	—
コーチ 森 圭司						
合計		56	3	20	7	14

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

## 戦評

決勝トーナメント1回戦、石川県美川対東京都実践学園の対決。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。1Q、実践学園は#4の1対1を中心にオフェンスを組み立てる。対する美川は#5にボールを集め、3Pで応戦する。一進一退の攻防となるが、終盤に実践学園#4のドライブや3Pが決まり、13-17で実践リード。2Q、美川は実践学園#4にフェイスガードでディフェンスして失点を抑えるが、オフェンスで得点が伸びない。実践学園は#7や#9のインサイドで得点を重ねていき、24-32の実践学園リードで前半を終える。

3Q、美川は開始から#5のドライブインや#4の速攻からの得点で追い上げる。実践学園は、#4が果敢に攻めるが得点が伸びない。終盤、美川は#11の3Pで1点差に迫り、43-44で実践学園リード。4Q、実践学園はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、#4の1対1、3Pで美川を突き放しにかかる。一方美川は、#12、#16の連続得点から流れが変わり、残り3分、美川#5のスティールからの速攻で同点に追いつく。その後、#5のジャンプシュートがバスケットカウントとなって逆転。実践学園は#4が1対1からのドライブなどで食らいつき、残り時間30秒、実践学園#4がジャンプシュートを決めて再逆転。最後は気迫で守りぬいた実践学園が55-56で勝利した。手に汗握る、白熱したゲームであった。

© 2018 尾崎 健二 (所属) 山口県中体連バスケットボール専門部